

情報発信 1

～地図とさまざまなコンテンツを組み合わせた情報発信～

A-PLAT CLIMATE CHANGE
ADAPTATION
INFORMATION
気候変動適応情報プラットフォーム **PLATFORM**



目次

第 1 章 はじめに	3
当資料の位置付け	4
情報発信（ストーリーマップ）とは	4
第 2 章 ストーリーマップの事例①（カスケード）	5
概要	6
ストーリーマップの作成	6
ステップ 1: ストーリーマップ カスケードの作成	6
ステップ 2: 表紙の作成	8
ステップ 3: 導入セクションの作成	12
ステップ 4: 本文セクションの作成	17
第 3 章 ストーリーマップの事例②（マップシリーズ/マップジャーナル）	25
概要	26
ストーリーマップの作成	27
ステップ 1: マップシリーズの作成	27
ステップ 2: コンテンツの作成（マップジャーナル）	32
ステップ 3: コンテンツの作成（マップジャーナル）	38
ステップ 4: コンテンツの作成（ダッシュボード）	41
ステップ 5: ストーリーマップの公開	43



第 1 章 はじめに

当資料の位置付け

当資料は、地方自治体及び地域気候変動適応センター（以下地域センター）の方が、地域の気候変動適応に資する情報発信をする際の手段の一つとしてストーリーマップ（ここではArcGIS Onlineを利用）の手法をご紹介します事で、活動の一助となる事を目的としアプリケーション操作手順書を作成しました。

情報発信（ストーリーマップ）とは

ストーリーマップとは、地図とさまざまなコンテンツ（テキスト、画像、動画等）を組み合わせた、ArcGIS Onlineで簡単に作成・利用できるアプリケーションです。

ストーリーマップでは、時系列や体系化された項目等ストーリー性のある表現をしたり、複数のコンテンツ等を組み合わせた視覚的効果の高い情報発信をする為の設定が準備されています。

ストーリーマップには2種類(Classic Story Mapsと新しい ArcGIS StoryMaps)があり、それぞれログイン先のURLが異なります。当資料ではClassic Story Mapsに用意されているテンプレートを利用します。



Classic Story Maps : テンプレートが用意されたStorymapアプリケーションを作成する。
ArcGIS StoryMaps : 2019年にリリースされた新しいサービス。単一のStorymapビルダーを利用して柔軟にアプリケーションを作成できる。



第2章 ストーリーマップの事例①

(カスケード)

概要

長野県におけるウグイスの初認調査について情報発信を行うためにストーリーマップを作成する操作手順について記載します。

汎用的な記載内容になっているため、他の主題や地域についても横展開が可能です。

ストーリーマップの作成

ステップ 1: ストーリーマップ カスケードの作成

[ステップ 1]では、ストーリーマップに用意されているテンプレートの中からカスケードを選択します。ストーリーマップ カスケードは、スクロール操作のみで利用するシンプルで没入感のあるストーリーが伝えられるテンプレートです。

- ① PCのWeb ブラウザーを起動し、サイト「<https://storymaps-classicqa.arcgis.com/ja/>」にアクセスして、サイン インします。



図 1

② [ストーリーの作成] をクリックします。

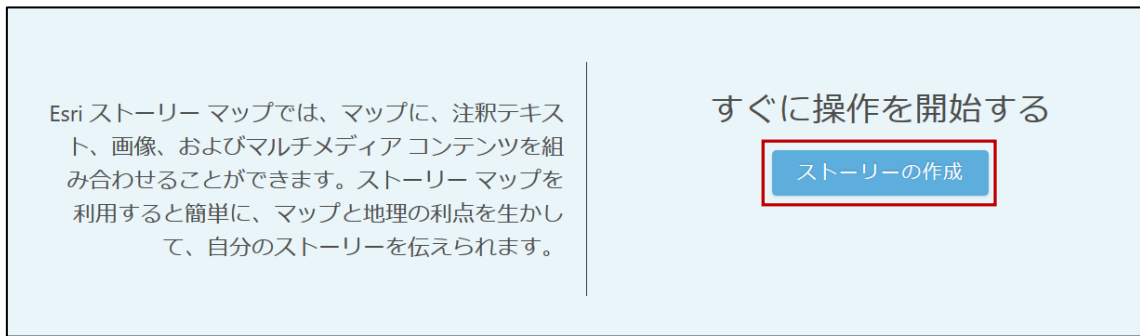



図 2

③ [CASCADE] をクリックします。



図 3

 マップツアー：マップにリンクされた一連の写真やビデオでツアーを表示します。

マップジャーナル：サイド パネルで、セクション別にまとめられた詳細なストーリーを作成します。

カスケード：没入型の全画面表示スクロールによって詳細なストーリーを作成します。

マップシリーズ：タブ、箇条書きなどにより一連のマップやその他のコンテンツを表示します。

ショートリスト：対象地域のコンテンツをテーマ別のタブに整理できます。

スワイプおよびスパイグラス：2つのマップを比較してデータ パターンや変化を確認できます。

ベーシック：必要最低限のユーザー インターフェイスを備えたシンプルなマップ ビューアーです。

④ [構築] をクリックします。



図 4

自動的に[Cascade ビルダー]が開いた後に、初期設定の表紙画面が表示されます。



画面遷移の仕方によっては [Cascade ビルダー]が直接開く場合があります。

ここからストーリー マップを作成していきます。



図 5

以上で、「ステップ 1: ストーリーマップ カスケードの作成」が完了しました。

ステップ 2: 表紙の作成

[ステップ 2]では、ストーリーマップの表紙(カバー)を作成します。興味深く印象的な表紙を作成することで、ユーザーを引きつけることができます。

- ① [ストーリーのタイトルを入力] ボックスに、タイトルを入力します。



図 6

- ② 画面左の[保存] をクリックし、ストーリーマップを保存します。



図 7

ストーリーマップを保存するとArcGIS Onlineのマイコンテンツにファイルが保存されます。

- ③ ArcGIS Onlineのマイコンテンツを確認するには、新しくPCのWeb ブラウザーを起動し、サイト「www.arcgis.com」にアクセスして、サイン インします。



図 8

- ④ ArcGIS Online サイトの上部にある [コンテンツ] をクリックするとマイコンテンツが表示されます。



図 9

- ⑤ 任意のサブタイトルを入力し、表紙イメージ画像を設定するために[画像またはビデオの追加]をクリックします。
- ⑥ 任意のサブタイトルを入力し、表紙イメージ画像を設定するために[画像またはビデオの追加]をクリックします。



図 10

- ⑦ [画像をドロップ] をクリックし、表紙画像を設定します。

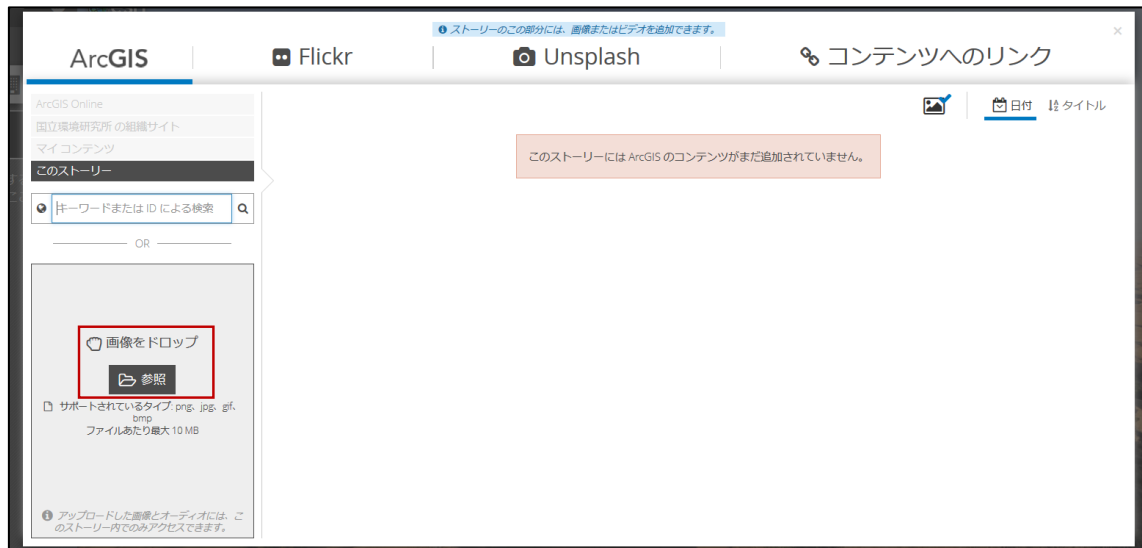


図 11

表紙画像が設定されました。修正したい場合は左下の編集ボタンから行います。



図 12

以上で、「ステップ 2: 表紙の作成」が完了しました。

ステップ 3: 導入セクションの作成

[ステップ 3]では、導入セクションを作成します。ストーリーマップのセクション構成は自由ですが、カスケードは上下のスクロール操作のみで利用するテンプレートのため、表紙の次に導入セクションを作成することでストーリーの内容がスムーズに展開します。

- ① マウスを下スクロールし、次のページを設定する [＋] をクリックします。



図 13

- ② [テキスト] をクリックし、ストーリーの導入文を入力します。



図 14

- ③ [メディア] をクリックし、画像を設定することもできます。



図 15

テキストと画像を組み合わせるユーザーを引きつける導入文を作成します。



図 16

④ ストーリーマップのテーマ色を変更するために、画面左の設定ボタンをクリックします。

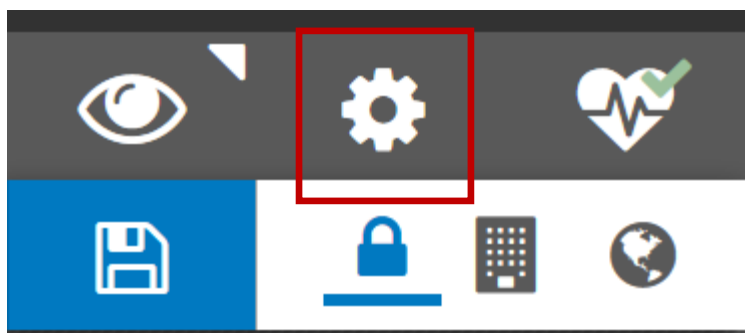


図 17

- ⑤ [表示設定] タブから、[暗い] を選択して[適用] をクリックします。

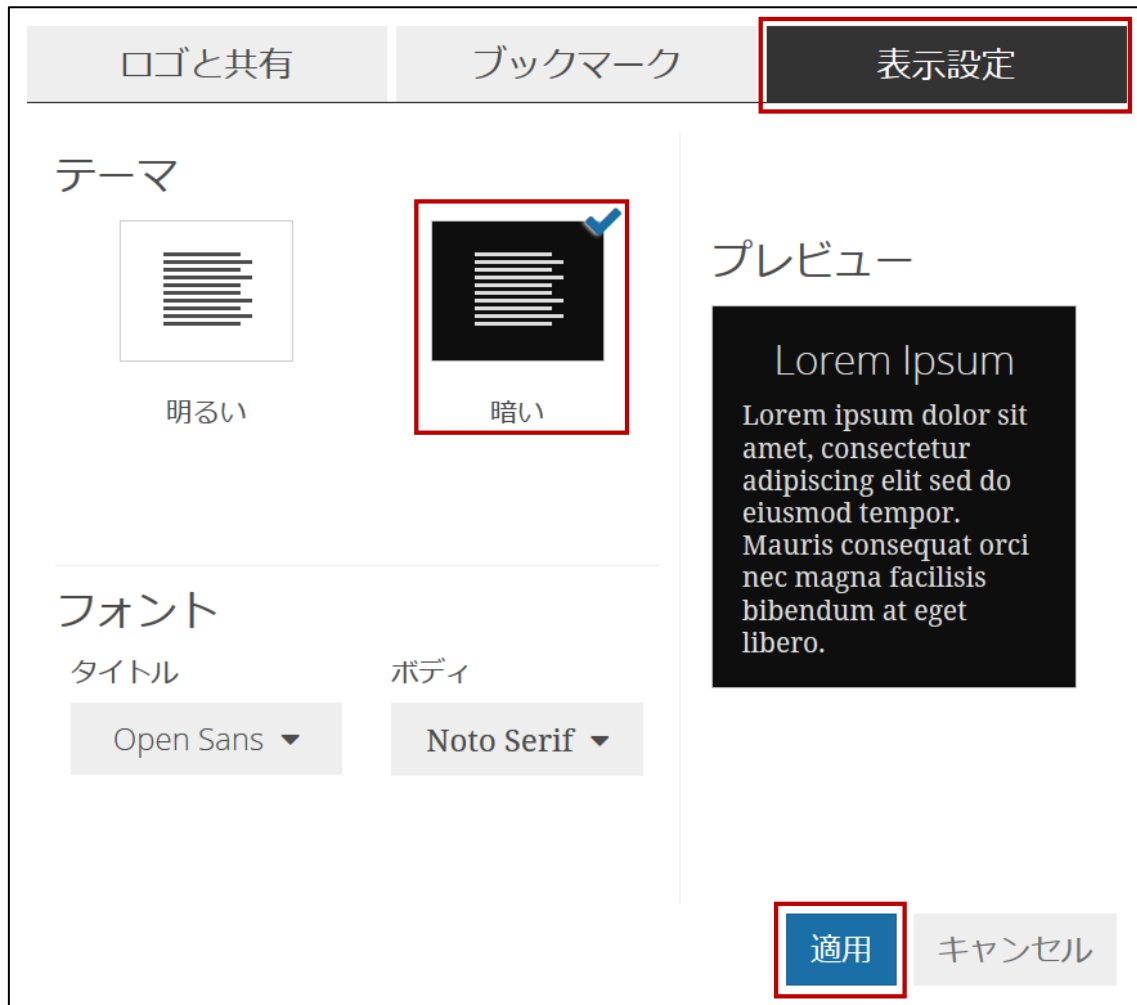


図 18

- ⑥ 導入セクションのタイトルを作成するために[タイトル] をクリックします。



図 19

- ⑦ [タイトルの入力...] にタイトルを入力し、[メディアの追加] をクリックします。

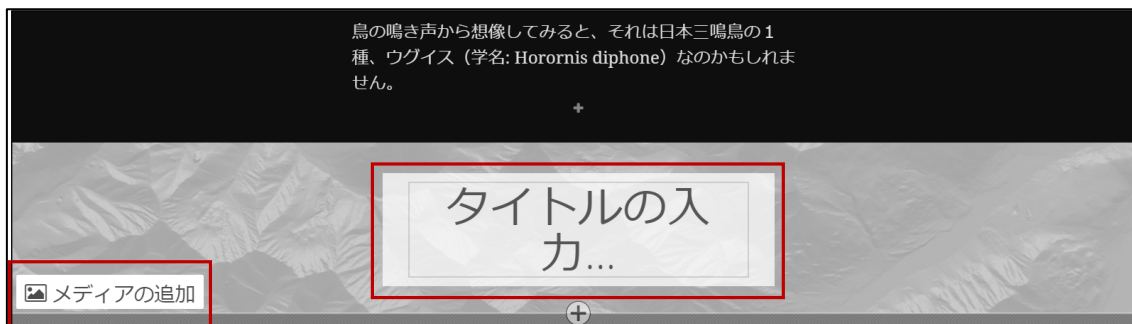


図 20

- ⑧ [画像をドロップ]内の[参照]ボタンをクリックし、タイトルに適した背景画像を設定します。
[メディアの追加] で設定した背景画像の上にタイトルが表示されます。

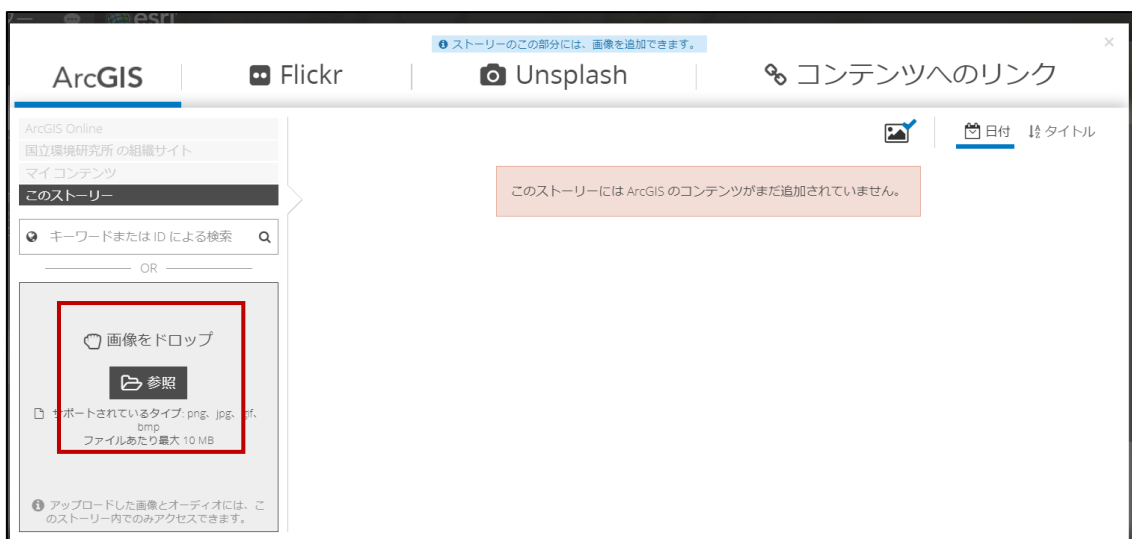


図 21

導入セクションのタイトルは印象的な画像を設定し、直感的でわかりやすいようにします。



利用する写真の著作権については、出典元のポリシーに従うようお願い致します。

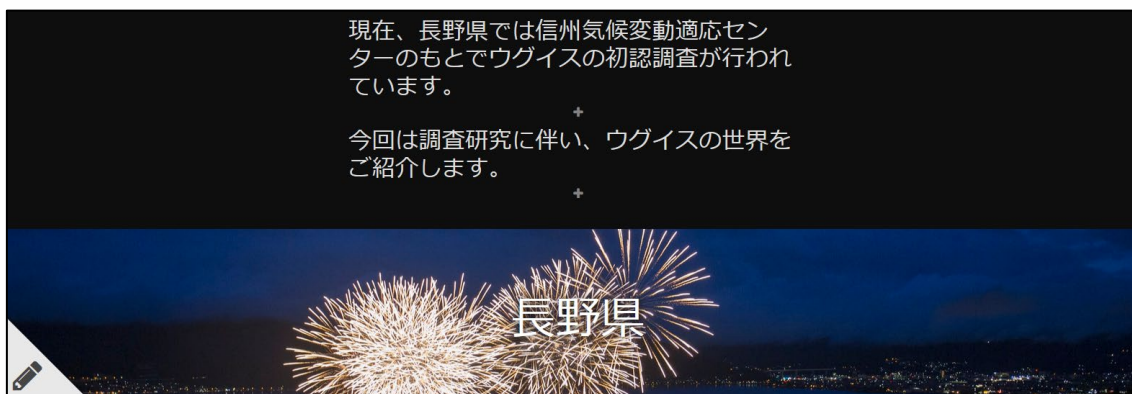


図 22

ユーザーを引きつける画像を用いて導入文を完成させていきます。



図 23

以上で、「ステップ 2: 導入セクションの作成」が完了しました。

ステップ 4: 本文セクションの作成

[ステップ 4]では、ユーザーに伝えたい情報のメインとなる本文セクションを作成します。地図や写真、注釈を組み合わせて没入感のあるストーリーを作成することで効果的な情報発信ができます。

- ① 導入セクション下の[+] をクリックし、[没入型] をクリックします。



図 24

新規に没入型セクション画面が開始されます。

没入型セクションに設定するマップは事前に作成してあるものを利用します。1つのマップに複数レイヤーを設定しておき、ページをめくる(マップを複製)ごとに表示レイヤーを変更します。

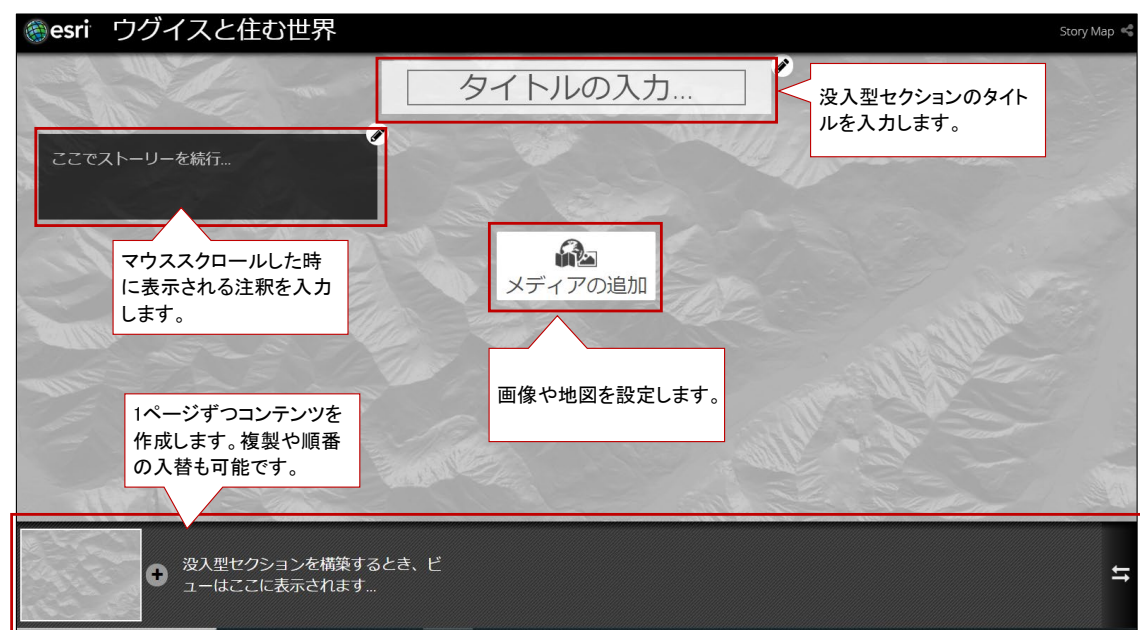


図 25

- ② [メディアの追加] をクリックし、マップを選択します。

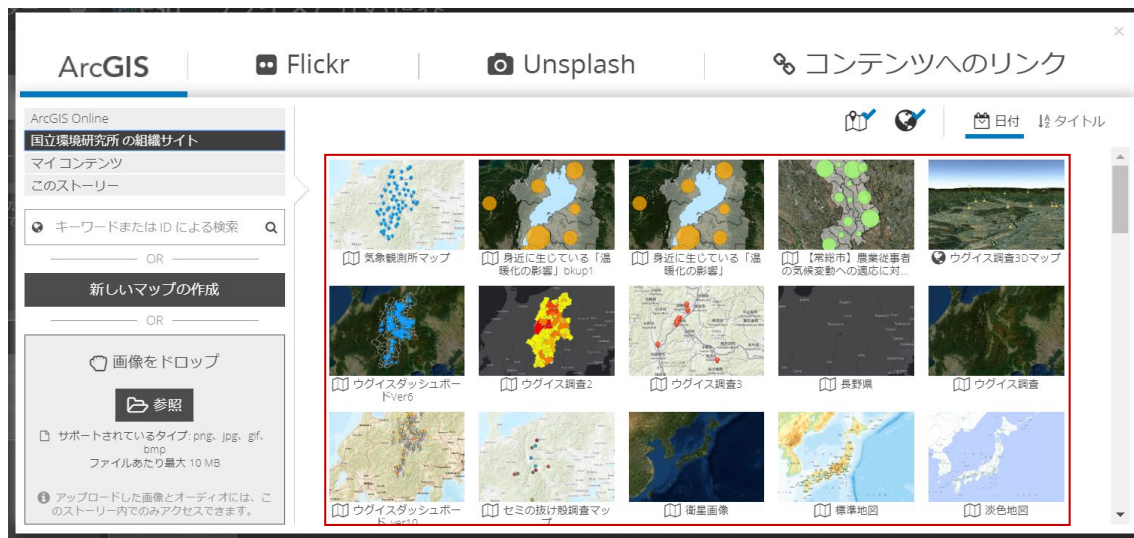


図 26

- ③ マップに表示するレイヤーを設定するために、メディアの編集ボタンをクリックします。



図 27

- ④ 1ページ目に表示するレイヤーにチェックを入れ、2ページ目に表示するレイヤーのチェックを外して左下チェックボタンをクリックし保存します。



図 28

- ⑤ [ここでストーリーを続行..] に説明文を入力します。



図 29

- ⑥ 画面下の没入型ビュー内でマップの[複製]をクリックし、マップのコピーを作成します。

複製直後には同じマップが2つ表示されますが、白枠で囲われているマップが現在アクティブに表示されています。



図 30

Storymap上でマップを編集したい場合には、メディアの[管理]タブから[編集] ボタンをクリックすることで、マップの変更が出来ます。



図 31

⑦ コピーしたマップに表示するレイヤーを設定します。

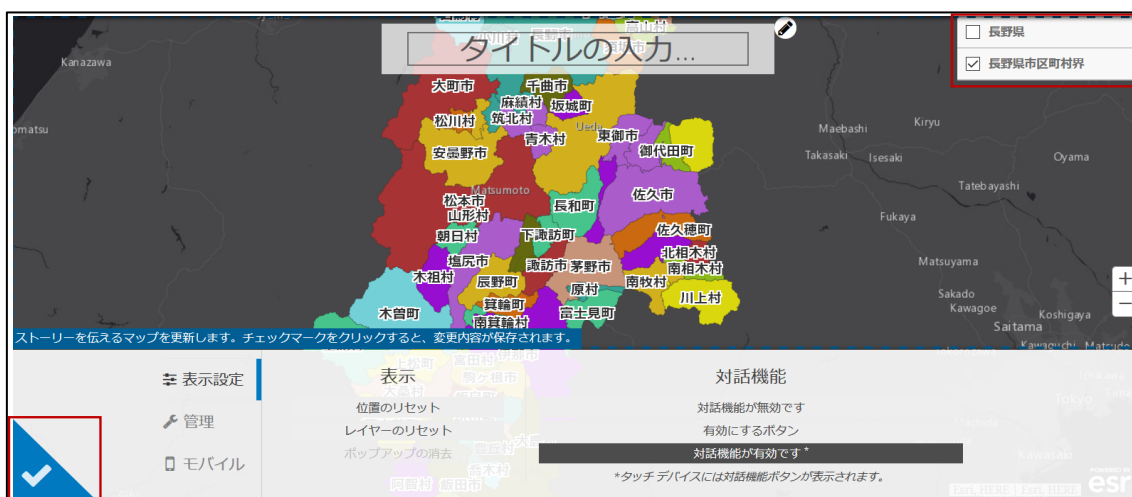


図 32

⑧ [ここでストーリーを続行..] に説明文を入力します。

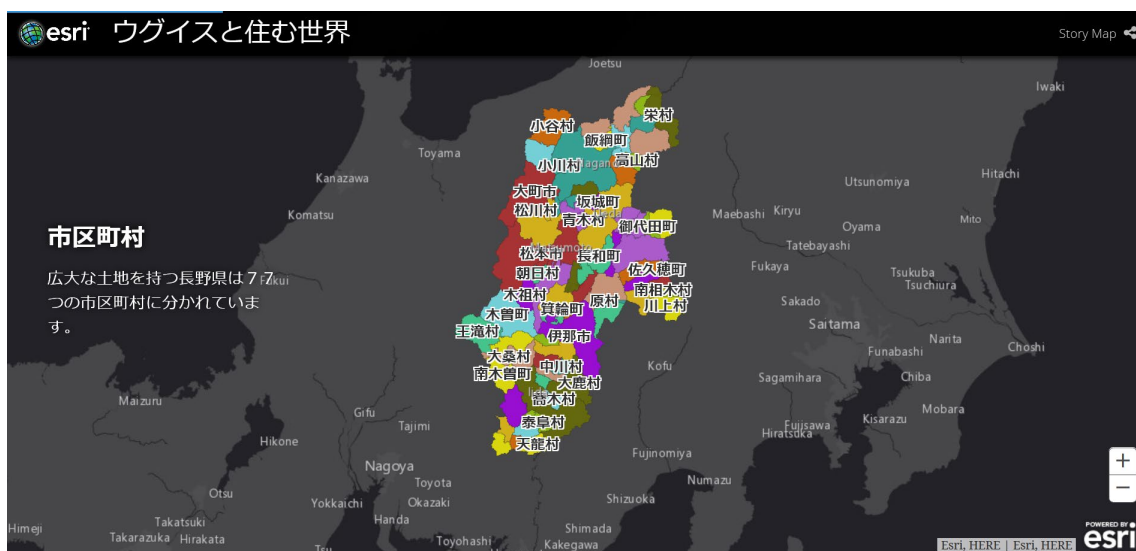


図 33

⑨ 地図以外にも画像を設定するために、画面下の没入型ビュー内にある [+]ボタンをクリックします。

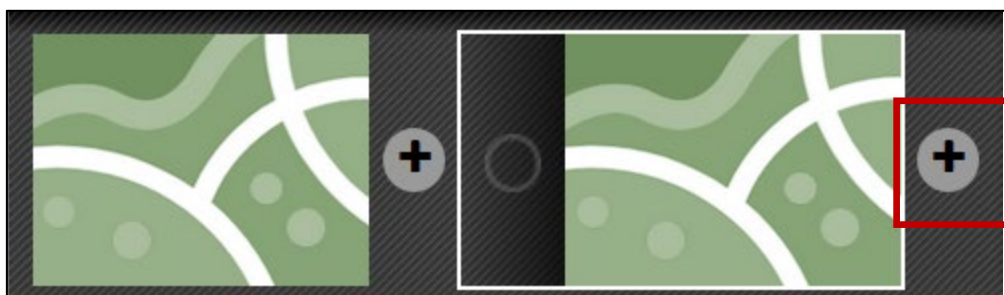


図 34

- ⑩ 画像を設定し、トランジション(画面スクロール時の動作)を [垂直方向にスワイプ] に設定します。



図 35

これまでの記載の方法で地図や画像などのコンテンツを組み合わせたストーリーを作成することが出来ます。当資料内ではこれ以降の詳細なコンテンツは割愛させていただきます。

- ⑪ ストーリーマップの作成が完成したら、公開範囲の [パブリック] ボタンをクリックし、一般公開します。



図 36

以上で、「ステップ 4: 本文セクションの作成」が完了しました。作成したストーリーマップは、ArcGIS Onlineのマイコンテンツから確認できます。



その他ストーリーマップの詳細については、以下の参考WEBサイトをご覧ください。

ストーリーマップ : <https://www.esri.com/gis-guide/web-gis/story-map/>

地図で伝えるストーリー : <https://learn.arcgis.com/ja/arcgis-book/chapter3/>

ストーリー マップ ギャラリー : <http://storymaps-classic.arcgis.com/ja/gallery/#s=0>



第3章 ストーリーマップの事例②

(マップシリーズ/マップジャーナル)

概要

ここでは福岡県における気候変動影響への適応に関する情報発信を行うためにストーリーマップを作成する操作手順を記載します。汎用的な記載内容になっているため、他の主題や地域についても横展開が可能です。

ストーリーマップには複数のテンプレートが用意されていますが、今回はマップシリーズとマップジャーナルを使用します。作成するアプリはマップシリーズを基盤とし、その中にマップジャーナル(詳細はステップ2参照)とダッシュボード(詳細はステップ4参照)の2つのアプリを組み込みます。

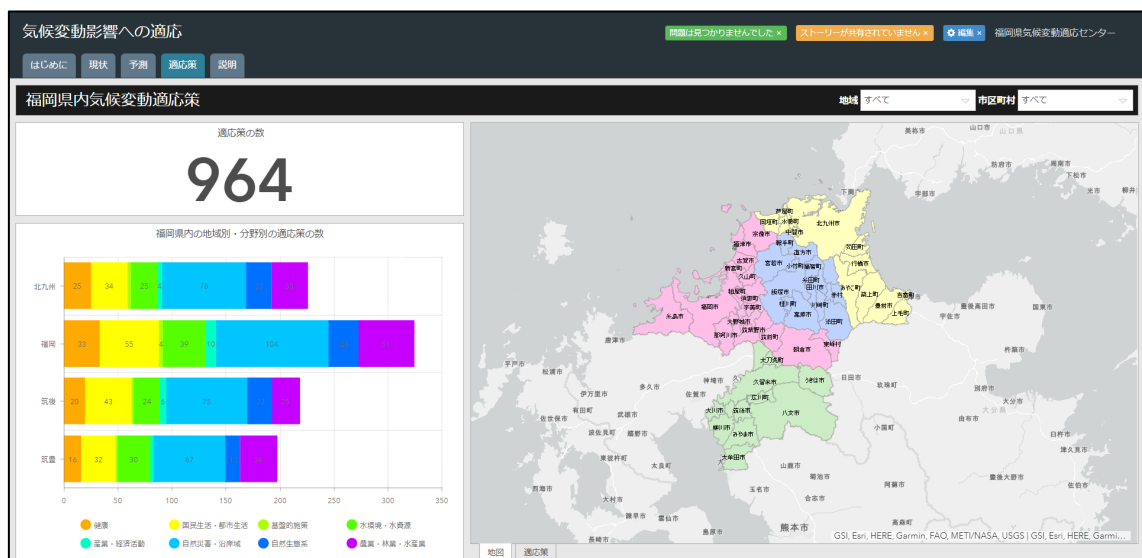


図 37
(アプリの完成イメージ)

ストーリーマップの作成

ステップ 1: マップシリーズの作成

マップシリーズはタブ等を使用して、Webマップ/画像/ビデオ/Webページのコンテンツを表示できるテンプレートです。ステップ1では、マップシリーズの起動と編集画面の表示までを行います。

- ① PCのWeb ブラウザーを起動し、サイト「<https://storymaps-classic.arcgis.com/ja/>」にアクセスして、サイン インします。



図 38

② [ストーリーの作成] をクリックします。

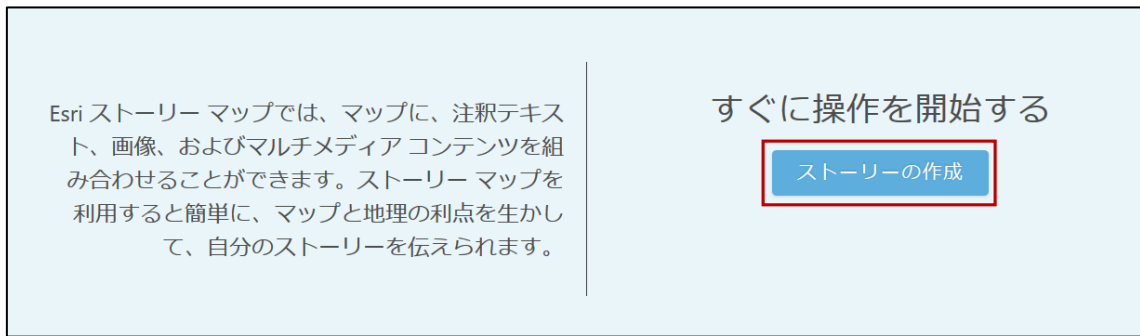


図 39

③ [MAP SERIES] をクリックします。



図 40




- マップツアー：マップにリンクされた一連の写真やビデオでツアーを表示します。
- マップジャーナル：サイド パネルで、セクション別にまとめられた詳細なストーリーを作成します。
- カスケード：没入型の全画面表示スクロールによって詳細なストーリーを作成します。
- マップシリーズ：タブ、箇条書きなどにより一連のマップやその他のコンテンツを表示します。
- ショートリスト：対象地域のコンテンツをテーマ別のタブに整理できます。
- スワイプ/パイグラス：2つのマップを比較してデータ パターンや変化を確認できます。
- ベーシック：必要最低限のユーザー インターフェイスを備えたシンプルなマップ ビューアーです。

- ④ [Map series ビルダー] が開き、レイアウト設定の選択画面が表示されます。ここでは[タブ付き]を選択し、[開始]をクリックします。



図 41

- ⑤ タイトルの入力画面が表示されます。ここでは「気候変動影響への適応」と入力し、 をクリックします。

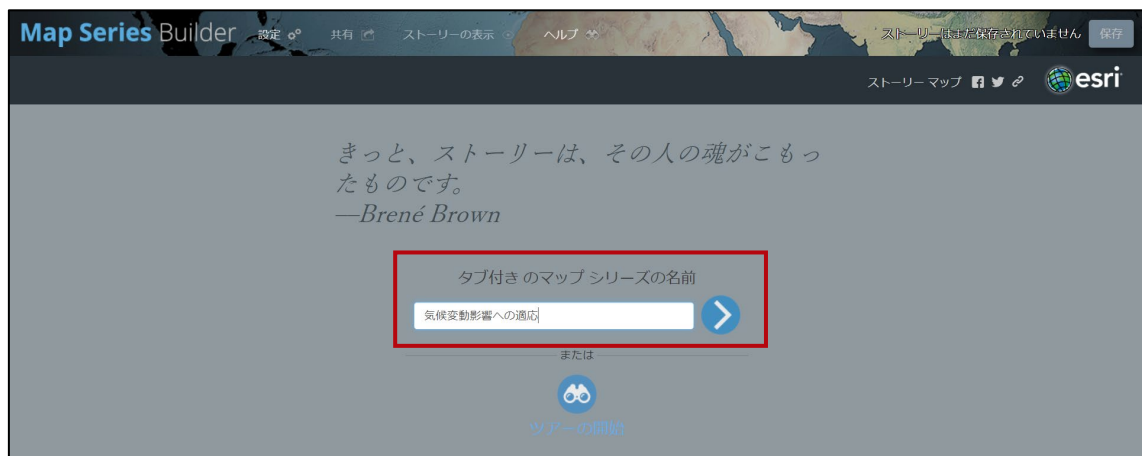


図 42

- ⑥ 続いて、最初のタブを設定する画面[追加タブ]が表示されます。ここではタブタイトルに「はじめに」と入力します。

[追加タブ]ではタイトルに加え、Webマップ/画像/ビデオ/Webページのいずれかのコンテンツを追加する必要があります。この手順書では、最初のタブに気候変動適用について記載された画像をアップロードします。画像アップロード後の[位置]を[調整]に設定することで、画像を中央にバランスよく配置することができます。



図 43



図 44


- ⑦ 追加したタブを修正したい場合には[編集]  編集 タブをクリックします。



図 45



- ⑧ 追加したタブを削除したい場合には[整理]  整理 タブをクリックします。すると現在作成したタブ一覧が表示されます。削除したいタブの欄にある  をクリックすると削除されます。



図 46

- ⑨ 最後に、画面右上の[保存]をクリックし保存します。



図 47

保存したアプリは、「Classic Story Maps」トップページの「マイストーリー」タブをクリックすることで確認することができます。



図 48

以上で、「ステップ 1: マップシリーズの作成」が完了しました。



タイトルやタブタイトルは、後で変更することも可能です。

ステップ 2: コンテンツの作成（マップジャーナル）

ステップ1ではマップシリーズを起動し、最初のタブを作成しました。ステップ2では、新たなタブに追加するコンテンツのうち「マップジャーナル」の作成を行います。

マップジャーナルは文章とマップ・画像を組み合わせる場合に適しており、サイドパネルでセクション別にまとめられた詳細なストーリーを作成できるアプリです。セクションとはサイドパネルとメインステージからなる項目のことを意味します。

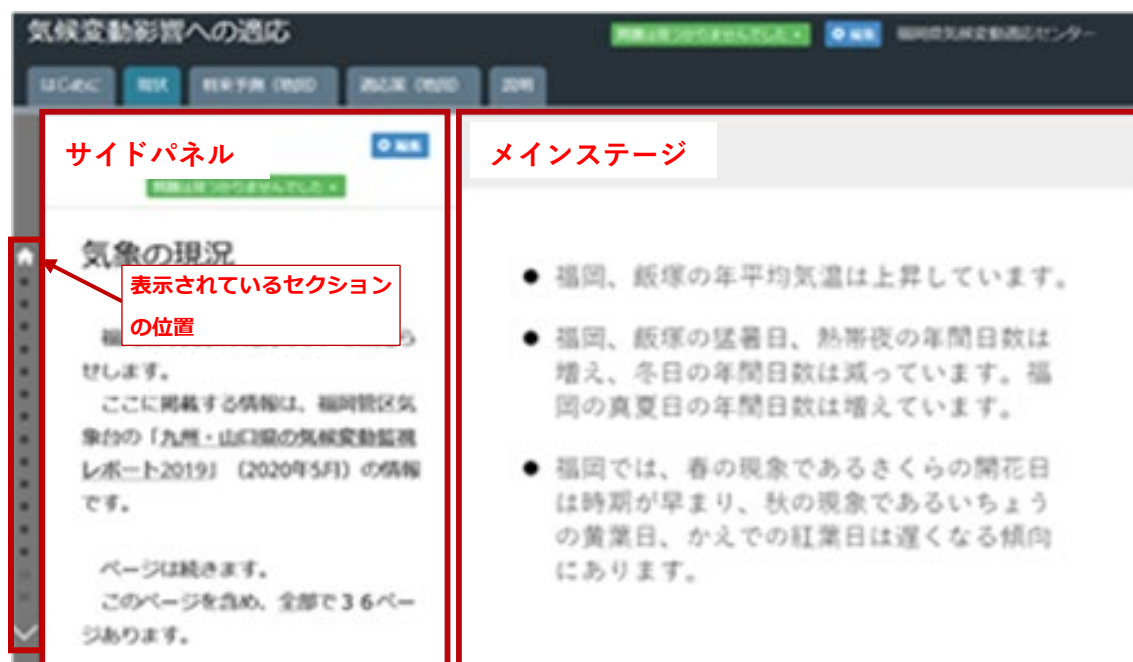


図 49

マップ ジャーナルはメインステージとサイドパネルで構成されています。サイドパネルをスクロールすることで、セクションに含まれるコンテンツが上から順番に表示されます。

メインステージ…地図/画像を表示。

サイドパネル…メインステージに表示された内容を説明。



図 50

① サイト「<https://storymaps-classic.arcgis.com/ja/>」にアクセスして、[ストーリーの作

成] をクリックします。

- ② 「MAP JOURNAL」 をクリックします。

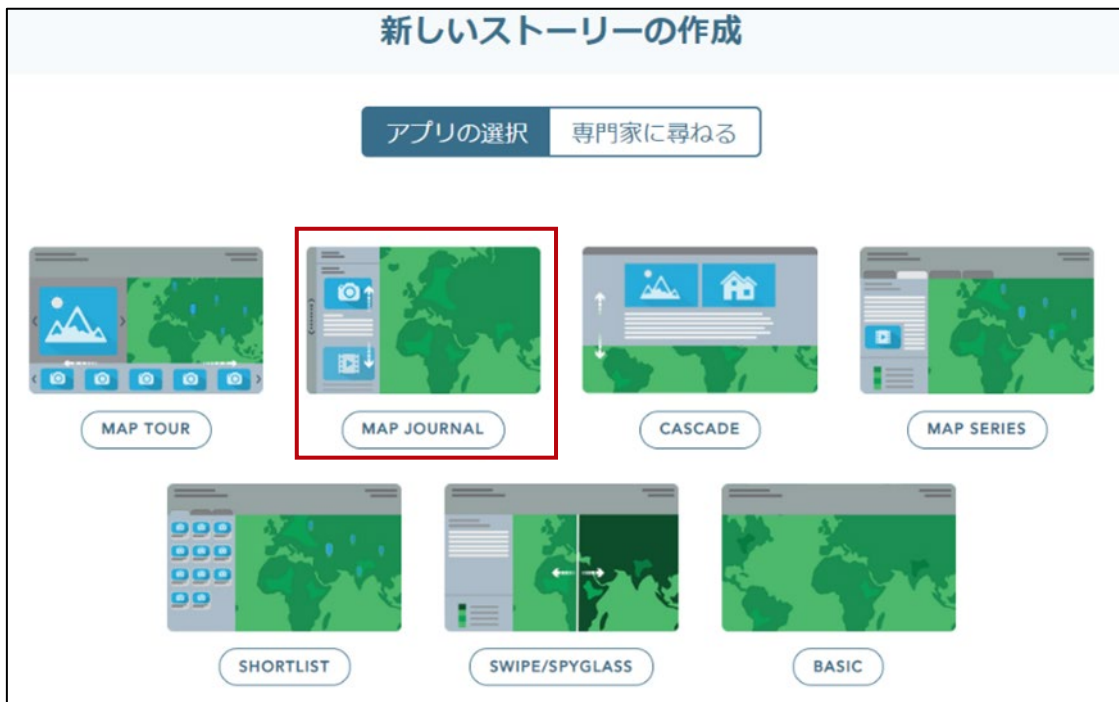


図 51

- ③ 「Map Journal Builder」が開き、レイアウトの選択画面が表示されます。ここでは[サイドパネル]を選択し、[開始]をクリックします。



図 52

- ④ マップジャーナル名を記入し、➡ をクリックします。この手順書では「現状」と記載しま

す。




図 53

- ⑤ マップジャーナルを立ち上げた際、画面の右側に表示されるメインステージのコンテンツを設定します。[ホームセクションの追加]では、Webマップ/画像/ビデオ/Webページのいずれかのコンテンツを追加します。
- ⑥ コンテンツを追加し配置位置を設定後、[次へ]をクリックします。



図 54

※配置位置は表示したいコンテンツの種類/サイズ等によって異なります

- ⑦ 次に、メインステージのコンテンツの内容を説明する文章を記述します。この文章はサイドパネルに記載されます。文章にはリンクを挿入することも可能（リンクを挿入したいテキストを選択後、 をクリックしURLを記述します）です。
文章の記述が終了したら[追加]をクリックします。

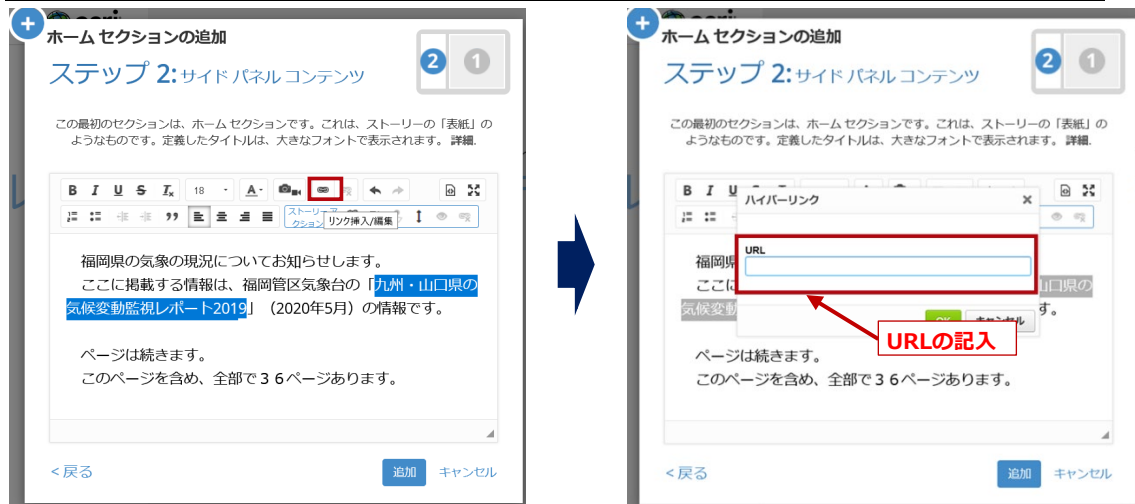


図 55

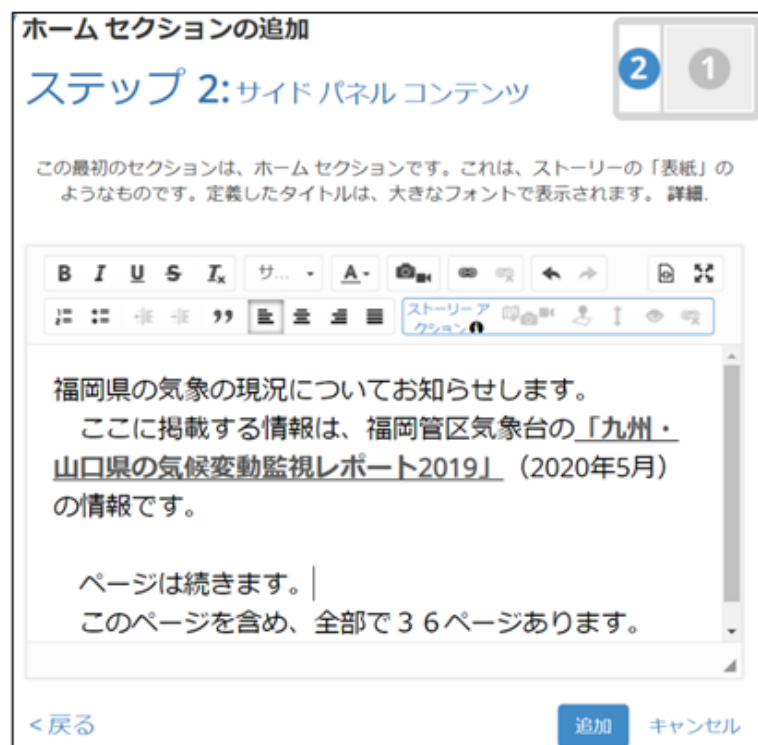




図 56

（リンク挿入後、該当する部分が下線表記されます）

- ⑧ ここまでの作業で最初のセクション作成が終了しました。別のセクションを挿入したい場合は、マップジャーナルの編集画面から[セクションの追加]タブ  をクリックし、⑤～⑥と同様の手順で作業を行います。なお、最初のセクション以降は、メインステージのコンテンツを設定する際にセクションタイトルの記述も行います。

マップジャーナルの編集画面で  をクリックすることで、セクションの編集が可能です。

- ⑨ メインステージにWebマップを表示したい場合は、コンテンツのマップを選択し、ArcGIS

OnlineのマイコンテンツにあるWebマップから追加します。表示したいWebマップを選択します。

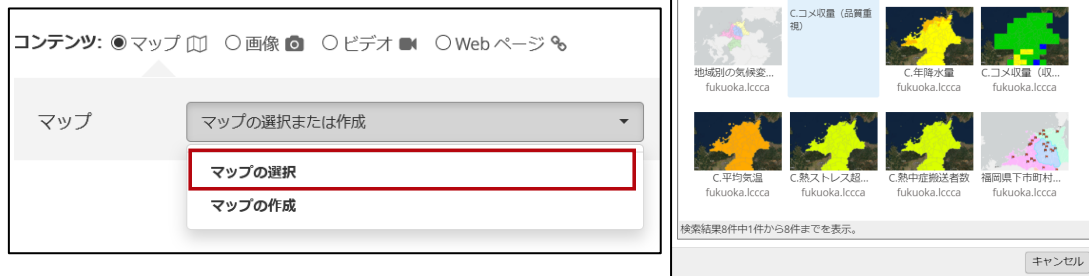


図 57



ここで追加するWebマップは事前に作成しておきます。Webマップの作成方法や色の塗分け等のシンボル変更は「ArcGIS Online逆引きガイド（2020年12月14日第19版）」の「3 マップの作成」をご参照下さい。

「ArcGIS Online逆引きガイド（2020年12月14日第19版）」

https://www.esri.com/cgi-bin/wp/wp-content/uploads/documents/ArcGISOnline_user_guide.pdf

- ⑩ Webマップを選択後、マップの表示位置/コンテンツ/ポップアップ/凡例/概観図等を設定します。[カスタム構成]を選択すると、マップが表示される範囲や表示するレイヤ等を変更することができます。また、概観図や凡例にチェックを入れることで、概観図や凡例の表示/非表示を選択できます。全ての設定を終了後、[保存]をクリックします。



図 58



作業の終了後は、必ず編集画面右上の[保存] **保存** をクリックしてください。

「Classic Story Maps」トップページの「マイストーリー」には、ステップ1で「Map Series」を用いて作成したアプリ「気候変動影響への適応」と、本ステップで「Map Journal」を用いて作成したアプリ「現状」が保存されています。



図 59

- ⑪ メインステージにArcGISで作成した別のWebアプリを表示したい場合は、コンテンツ[web ページ] をクリックし、WebアプリのURLをマイコンテンツからコピーして貼り付けます（ステップ3参照）。貼り付け後、[構成] **構成** をクリックし配置位置を設定します。

図14は「Imagery Viewer」テンプレートで作成した、スワイプ機能で同一地域を比較できるWebアプリを表示した例です。

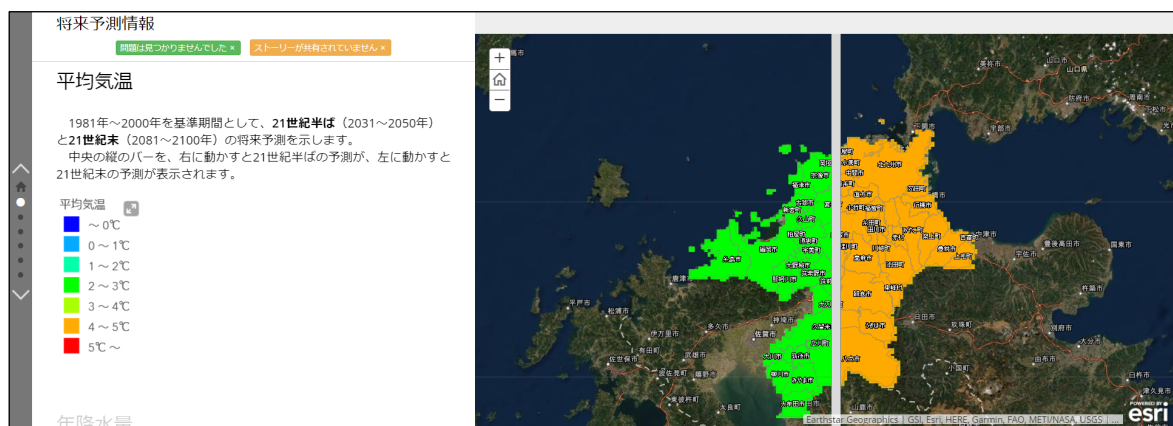


図 60

以上で、「ステップ 2：コンテンツ（マップジャーナル）の作成」が完了しました。

ステップ 3: コンテンツの作成（マップジャーナル）

ステップ3では、ステップ2で作成したマップジャーナルを、マップシリーズの新たなタブにコンテンツとして追加します。

- ① コンテンツ[webページ] をクリックし、マップシリーズに組み込みたいマップジャーナルのURLをArcGIS Onlineのマイコンテンツからコピーして貼り付けます。ArcGIS Onlineのマイコンテンツを確認するには、新しくPCのWeb ブラウザーを起動し、サイト「www.arcgis.com」にアクセスして、サインインします。コンテンツから対象のマップジャーナルをクリックし、概要欄下部のURLをコピーします。

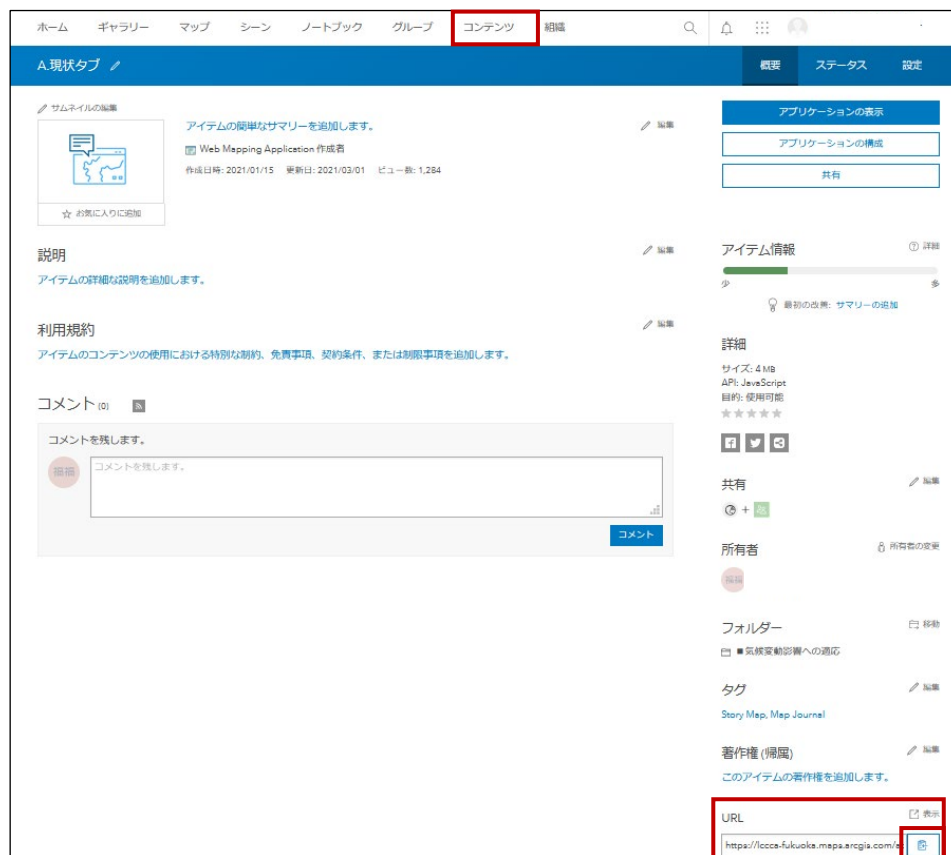


図 61

「Classic Story Maps」で作成したアプリを組み込みたい場合は、「マイストーリー」から対象となるアプリを立ち上げ、直接URLをコピーすることも可能です。



図 62

- ② マップシリーズの編集画面から[追加]タブをクリックし、タブタイトルを入力します。



図 63

- ③ タブタイトル入力後、コンテンツは「Webページ」にチェックを入れます。続いて、①でコピーしたURLを貼り付け、[構成]をクリックします。



図 64

- ④ 組込むマップジャーナルの位置を選択します。今回は[塗りつぶし]を選択し、[追加]をクリックします。



図 65

- ⑤ マップシリーズにマップジャーナルが組み込まれていることを確認します。



図 66

サイドパネルには、「問題は見つかりませんでした」「ストーリーが共有されていません」というタブが表示されます。これらのタブは一般公開時には表示されません。

「問題は見つかりませんでした」は、作成したアプリに問題がないことを示しています。

「ストーリーが共有されていません」は、一般公開されていないことを示しています。

一般公開の方法はステップ5をご確認ください。

- ⑥ 別のマップジャーナルを追加したい場合は、新たなタブを作成し同様の手順で追加します。作業途中や作業終了後は、右上の[保存]をクリックして保存します。

以上で、「ステップ3：コンテンツの作成（マップジャーナル）」が完了しました。

ステップ 4: コンテンツの作成（ダッシュボード）

ステップ3ではマップジャーナルを追加しましたが、ステップ4ではダッシュボードを新たなタブに追加します。なお、ダッシュボードアプリの作成手順は「状況認識」の手順書をご参照ください。

ダッシュボードは様々なデータを、地図やグラフを用いて一元的に管理・可視化するWebアプリケーションです。ArcGIS OnlineのArcGIS Dashboardsというアプリケーションを利用しています。

- ① マップシリーズの編集画面から[追加]タブをクリックし、タブタイトルを入力します。



図 67

- ② ステップ3と同様にコンテンツ[webページ]をクリックし、マップシリーズに組み込みたいダッシュボードのURLをコピーして貼り付けます。貼り付け後、[構成] **構成** をクリックします。

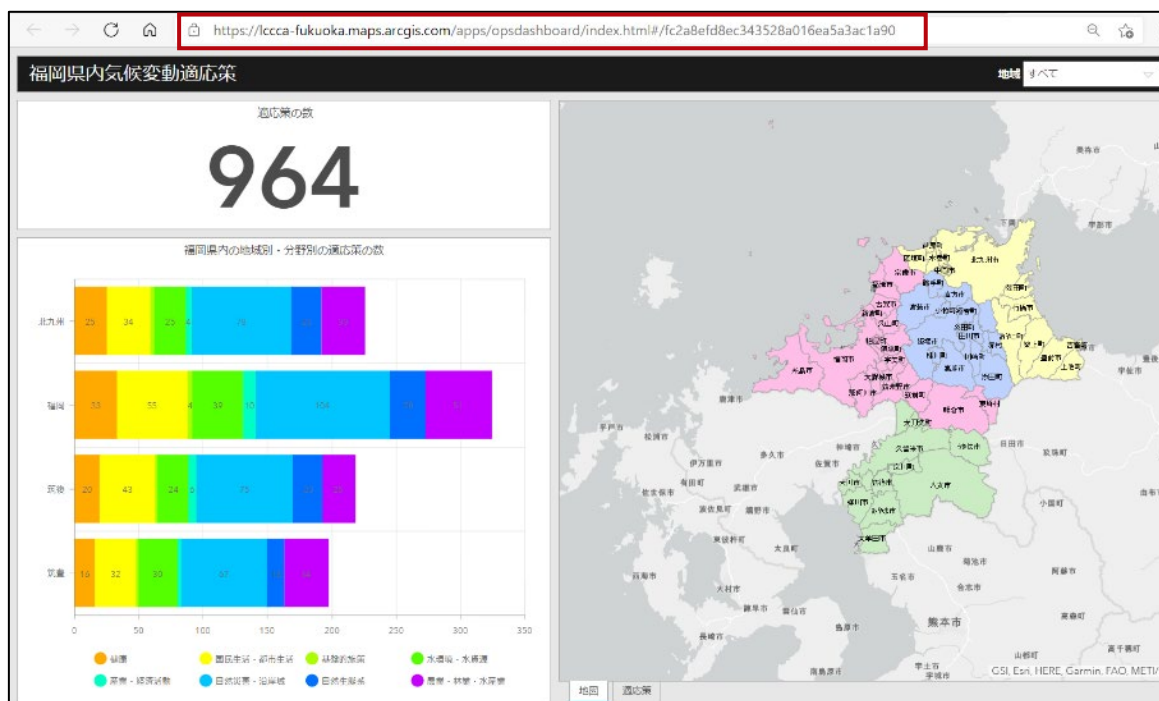


図 68

- ③ 組込むマップジャーナルの位置を選択します。今回は[塗りつぶし]を選択し、[追加]をクリックします。すると、マップシリーズの[適応策]タブにダッシュボードが追加されました。作業途中や作業終了後は、右上の[保存]をクリックして保存します。

以上で「ステップ3：コンテンツの追加（ダッシュボード）」が完了しました。

「気候変動影響への適応」アプリの完成イメージは以下の通りです。

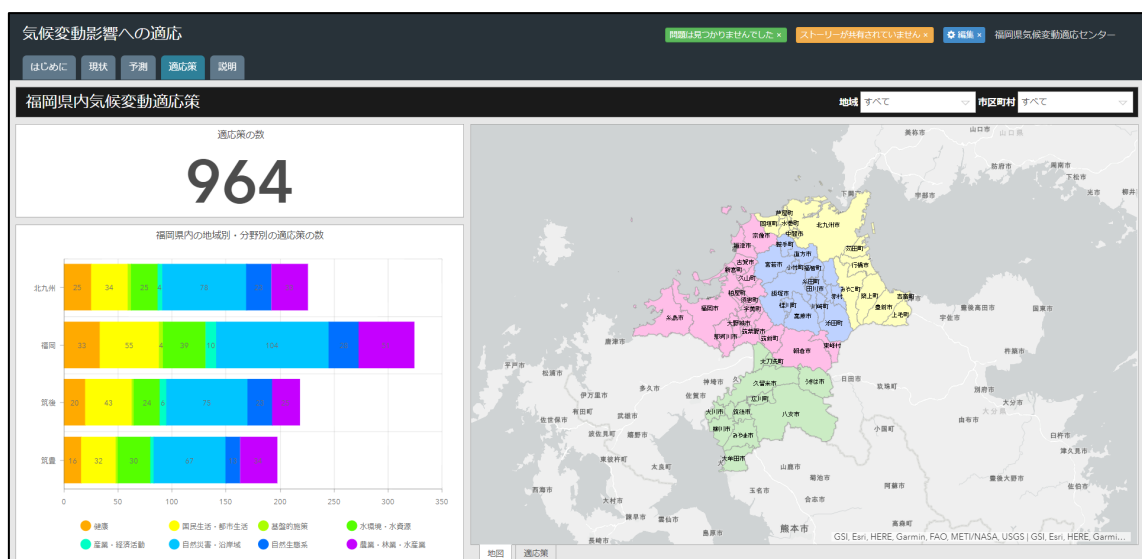


図 69



その他ストーリーマップの詳細については、以下の参考WEBサイトをご覧ください。

ストーリーマップ: <https://www.esri.com/gis-guide/web-gis/story-map/>

ストーリーマップシリーズ: <https://storymaps-classic.arcgis.com/ja/app-list/map-series/>

ストーリーマップジャーナル: <https://storymaps-classic.arcgis.com/ja/app-list/map-journal/>

ストーリー マップ ギャラリー: <http://storymaps-classic.arcgis.com/ja/gallery/#s=0>

ステップ 5: ストーリーマップの公開

作成したストーリーマップは、デフォルトではプライベート（非公開）の設定となっています。一般公開するためには、ArcGIS Onlineのマイコンテンツまたは「Classic Story Maps」の「マイストーリー」より設定を変更する必要があります。

この手順書では、「マイストーリー」から公開する手順を記載しています。

- ① 「Classic Story Maps」の「マイストーリー」タブをクリックします。
- ② 公開したいアプリ（この手順書では「Map Series」で作成した「気候変動影響への適応」）をクリックします。



図 70

- ③ 共有設定が「プライベート」になっているため、「組織」または「パブリック」へ変更します。「組織」に変更すると、ArcGIS Onlineの組織サイトの全メンバーのみが閲覧できます。「パブリック」に変更すると、一般公開されます。



図 711

- ④ ③でストーリーマップの共有設定を変更すると、ストーリーマップに組み込まれたWebマップの共有設定も変更されます（共有レベルを変更する権限を有している場合）。組み込んだアプリも公開する場合は、ストーリーマップの共有設定とは別に、アプリを同じ公開設定にする必要があります。ここでは組み込まれた「現状」のマップジャーナルを「気候変動影響への適応」と同じ共有設定にします。



図 722

- ⑤ 公開したストーリーマップのURLを共有する場合、ArcGIS onlineのコンテンツの「概要」タブに表示されるURL、もしくはストーリーマップを表示した際のブラウザのアドレスバーのURLをコピーして共有する事ができます。この場合URLが長くなる為、ストーリーマップの「共有」で「ソーシャライズ」に表示される短縮URLをコピーして利用すると便利です。



図 733

以上

本手順書は以下発行時の内容となっており、今後画面に変更が生じることもあります。

必要に応じて本手順書が公開されているWebページ下部にある参考資料をご参照ください。

2021年3月31日 第1版発行

© National Institute for Environmental Studies. 2021